

# 「釣り三昧」

## － 変わった名前の魚

海太郎船長

### 「ネンブツダイ」「キタマクラ」

真鯛釣りをしていると、それを邪魔する餌取りが出没します。

その中に「ネンブツダイ」（別名、「赤じゃこ」とも。）がいます。

釣り上げたとたん「縁起が悪い」とか「不吉」と叫んでしまうのは、その名前が原因です。

「ネンブツダイ」の名前の由来は、二つの説があります。

一つ目の説は、求愛行動の時、念仏を唱えているかのような音を発することから念仏鯛。

二つ目は、オスが卵を孵化するまで口の中で保護するという習性に由来し、口を開閉して卵に新鮮な水を送るときの様子が、念仏を唱えているように見える、というものです。

もっと「縁起が悪い」「不吉」な魚に、「キタマクラ」がいます。

これも餌取りとして有名なフグの仲間です。

なんでこんな名前がついたのかというと、皮膚に猛毒があって食べたら死んで北枕になるからだとか。

「縁起が悪い」「不吉」な魚の話からスタートしてしまいましたが、「縁起がいい」名前の魚もいます。

実際に釣ったことはないのですが、「リュウグウノツカイ」「テンジクイサキ」「テンジクタチ」等です。

ほかにも、変わった、面白い名前の魚がないかと思って調べてみました。

### 「・・・モドキ」

本物と似ているけど違うものを区別するために使われるのが「・・・モドキ」です。

「ウメイロ」と「ウメイロモドキ」や「アカハタ」と「アカハタモドキ」などです。

「ウメイロ」はフエダイ科、「ウメイロモドキ」はタカサゴ科、似ているけど違う魚です。

「アカハタ」と「アカハタモドキ」は同じ科、属ですが、尾びれや背びれが異なります。

### 「キツネ・・・」「タヌキ・・・」

「キツネメバル」と「タヌキメバル」は、同じ科、属ですが、俗に言うキツネ顔、タヌキ顔の違いで命名されたと思われます。

実際には、見分けは難しいようです。

### 「オジサン」「ババア」

「オジサン」は、太平洋側のサンゴ礁に生息するヒメジ科の魚。

ヒゲ面で正面から見るとまるで人間のおじさんの様であることから付けられた名前で、正式名です。

「ババア」の方は、「オジサン」に対して「オバサン」だと思いきや、もっとキツイ言い方に(笑)。

タナカゲンゲという種類の深海魚なのですが、なぜか島根や鳥取ではこの名前(通称名)で呼ばれているそうです。

ほかにも「ウツカリカサゴ」や「アラハダカ」(あら! 裸!、ハダカイワシ科)なども。